

カテゴリー		アクション	確認	特に園で取り組みたいこと アクション番号・具体的なアクションの内容・それを実現するための具体的な方法・手段等	達成度 ◎・○・△・×	評価・次年度に向けて
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1)乳幼児の教育・保育について、質の高い実践を行います。	☐	カテゴリーⅠ（2） ・園評価や役員会、日々の保護者対応の中で保護者の声に耳を傾け、保育の改善につなげる。 カテゴリーⅠ（3） ・週案会議や終礼時に、一人一人の子どもの育ちについて語り合い、特に気になる子に対しては職員間で情報共有して保育の協力体制を整える。 カテゴリーⅠ（4） ・園舎内外の危険箇所を定期的に点検し、危険箇所がある場合は速やかに対応し、災害時の避難手順を職員全員と確認し共通理解する。 カテゴリーⅠ（5） ・年2回講師を招き、園舎や近郊の自然にふれ学ぶ機会をもつ。自然を通して子どもたちの学びをみとり、職員間の対話を深め保育の専門性の向上に努める。		
		(2)自己評価の研究・活用による教育・保育の質の向上を進めます。	☐			
		(3)子ども一人一人のニーズに対応したきめ細やかな教育・保育を提供します。	☐			
		(4)子どもの健康支援並びに安全の確保をします。	☐			
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5)保育者等の人間性と専門性の向上に努め、質の高い乳幼児の教育・保育を展開します。	☐			
		(6)施設長の責務を明らかにし、専門性の向上に努めます。	☐			
		(7)研修体系を確立し、研修意欲を高め、積極的に研修に取り組む環境を作ります。	☐			
Ⅱ 子育て家庭を支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8)子どもを産み育てることへの不安を解消するための機能を発揮します。	☐	カテゴリーⅡ（8） ・クラス懇談又は保育体験と個人懇談を年1回ずつ開催し、子育てについての悩みや不安を話せる場をつくり、子ども理解を深める。 カテゴリーⅡ（12） ・園開放を年6回実施し、未入園児の保護者を受け入れ、子育ての悩みを相談できるようにしたり情報交換ができたりする場を提供する。		
		(9)家庭との密接な連携を行い、子育てに共に取り組みます。	☐			
	地域の子育て家庭への支援の充実を図ります	(10)子育ての喜びや楽しさを実感できるように、教育・保育の専門性を生かした子育て支援を行います。	☐			
		(11)地域子育て支援を展開します。	☐			
		(12)地域の子育て家庭に対する保育相談及び援助の充実を図ります。	☐			
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13)福井市の支援事業実施関係機関や、地域を基盤とした子育て支援ネットワークとの充実を図ります。	☐	カテゴリーⅢ(13) ・年2回の保育カウンセラーや毎月の療育機関の訪園やケース会議を行い、気になる子にあわせた支援体制を整える。 カテゴリーⅢ(14) ・年1回の小学校の町探検の受け入れを行うと共に、幼児教育から小学校への接続講座や就学前の聞き取り調査に参加し、小学校への移行支援につなげる。		
		(14)小学校等との連携を深めます。	☐			
		(15)認定こども園、保育所等が中心となった地域子育て協働を展開し、子育て支援の総合的な拠点となります。	☐			
	地域と連携して教育・保育機能を強化します	(16)地域の実情を把握し、子育て家庭を支える資源を活用し、連携を充実します。	☐			
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(17)子どもと地域の人々との接点づくりに取り組みます。	☐	カテゴリーⅣ（17） ・森田中の職場体験を年2回、実習生の受け入れを随時行い、保育の仕事の楽しさや子どものかわいさを伝えていく。 カテゴリーⅣ（18） ・春の畑づくりや秋の森田地区の敬老会、“もりのわフェスタ”への参加など地域の方との交流の機会をつくり、保育園の理解を深めてもらう。		
		(18)地域住民に認定こども園・保育所等への理解を深めてもらう取り組みを進めます。	☐			
	子育て文化につながる活動を広げます	(19)子育て支援活動への参加のきっかけをひろげ、すべての子育て家庭の親子の参加運動を進めます。	☐			
		(20)すべての世代が関わる子育て文化の掘り起こしや子育て支援の推進や普及に取り組みます。	☐			
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	これからの乳幼児の教育・保育及びその制度について研究を行います	(21)認定こども園・保育所等の役割、機能について研究を行います。	☐	カテゴリーⅤ（22） ・日々の保育の現場で課題と向き合い、自らの意見をもち発信できるような職場づくりをし、研究大会や会議などで意見揭示をする。		
		(22)これからの乳幼児の教育・保育制度について課題の共有を行います。	☐			
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23)福井市の児童福祉関係機関との連携を深め、教育・保育・子育て支援の仕組みづくりを進めます。	☐			

《確認》年度末に確認、☒ チェックをする。

《特に園で取り組みたいこと》23のアクションから、特に園で取り組む内容（番号も記載）と具体的な方法等を記載する。

《達成度》◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。△：不足する部分や問題があった。×：目標を達成することができなかった。

《評価・次年度に向けて》達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。